

OKAMURA REPORT

第81期 報告書 2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日 証券コード：7994



okamura

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年4月の熊本地震により被害にあわれました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当連結会計年度の国内経済は、政府・日銀の財政政策や金融緩和を背景に企業収益や雇用環境の改善がみられるなど、緩やかな回復基調となりました。しかし一方では、中国経済の減速をはじめとする海外景気の下振れリスクや資源価格の下落、年初来の円高・株安など、依然として不透明な状況は払拭されずに推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、販売システムを刷新するなど生産性向上やコストダウンを推進し、国内事業競争力を強化してまいりました。また、中国・シンガポールなどに続く販売拠点として、2015年7月インドネシアに、PT. Chitose Internasional Tbkとの合併会社であるPT. Okamura Chitose Indonesiaを設立し、グローバル市場の拡大に向けた対応に取り組んでまいりました。



代表取締役会長
中村喜久男



代表取締役社長
中村 雅行

この結果、当連結会計年度の売上高は240,794百万円（前期比9.4%増）となりました。

損益面につきましては、経常利益は13,590百万円（前期比31.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、9,067百万円（前期比41.2%増）となりました。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

売上高

2,407 億円（前期比 9.4%増）

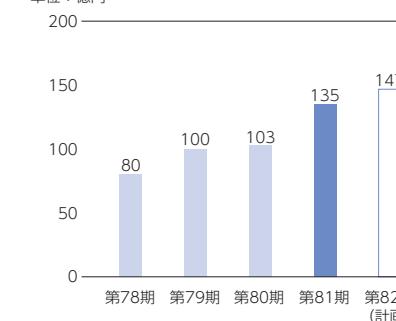
単位：億円



経常利益

135 億円（前期比 31.3%増）

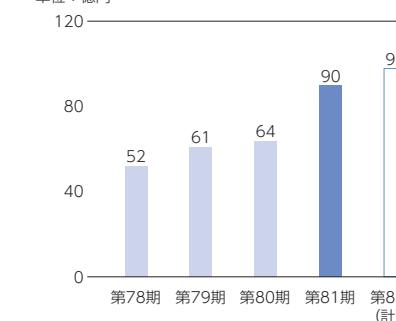
単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益

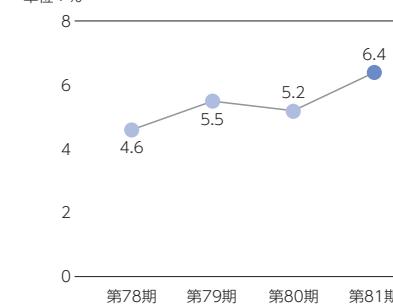
90 億円（前期比 41.2%増）

単位：億円



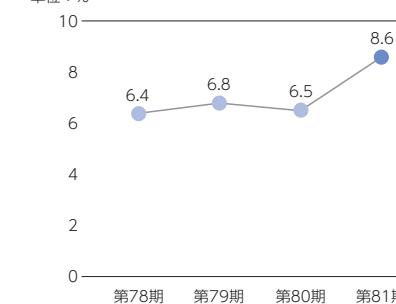
ROA (総資産経常利益率)

単位：%



ROE (自己資本当期純利益率)

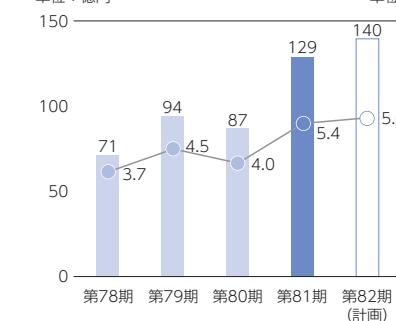
単位：%



売上高営業利益率

■ 営業利益 ● 売上高営業利益率

単位：億円



2015
10月

- [PT.Okamura Chitose Indonesia] 本格始動
- [第二回 R&Dセミナー] 開催
- [FIT2015] 出展
- [森が学校計画] シンポジウム&森の音楽会協賛

11月

- 点滴スタンド「divo(ディーボ)」シリーズとオフィスシーティング「Choral(コーラル)」が「The German Design Award 2016」を受賞
- 一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD) による「IAUDアワード2015」において、上下昇降デスク「Swift(スイフト)」が銀賞、患者チェア「LT92」およびヘルスケアロビーチェア「supporto(スポルト)」がIAUDアワードを受賞
- [第17回 図書館総合展] 出展
- [オカムラブランドフェア2015] 開催
- [SAFETEC2015] 出展
- [オカムラブランドコンサート2015] 開催
- [IFFT/interiorlifestyle living 2015] 出展
- [HOSPEX Japan 2015] 出展
- [上海オカムラショールーム] リニューアルオープン

12月

- 大阪「オカムラフェア2015」開催
- [エコプロダクツ2015] 出展

2016
1月

- [ISEA DAY 01] 開催

2月

- 福岡「オカムラフェア2016」開催
- 上下昇降デスク「Swift(スイフト)」およびミーティングチェア「Runa(ルナ)」が、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA) 主催の「JIDAデザインミュージアムセレクション vol.17」に選定
- [第50回 スーパーマーケット・トレードショー2016] 出展 **TOPICS 1**
- オフィスシーティング「mode(モード)」およびミーティングチェア「Lutz(ルッツ)」が、ドイツの2016年度「iFデザイン賞」を受賞
- ロボットストレージシステム「AutoStore(オートストア)」国内初納入、稼働開始 **TOPICS 3**
- 岡村製作所「CSR Report 2015」が「第19回環境コミュニケーション大賞」にて、「優良賞(第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)」を受賞

3月

- 第45回「JAPAN SHOP 2016」出展
- 第24回「SECURITY SHOW 2016」出展
- 第22回「建築・建材展2016」出展 **TOPICS 2**
- 第16回「JAPANドラッグストアショー」出展
- 東京国立博物館へ山形県寄贈「次世代展示ケース」を設計、製作
- 上下昇降デスク「Swift(スイフト)」とミーティングチェア「pirouette(ピルエット)」が2016年度ドイツ「レッドドットデザイン賞」を受賞

TOPICS 1

「第50回 スーパーマーケット・トレードショー2016」出展

2016年2月10日~12日、東京ビッグサイトにて「第50回スーパーマーケット・トレードショー2016」が開催されました。オカムラブースでは、「もっとわくわく、もっと便利に」をキーワードに、買い物をする人にはより楽しく、働く人にとってもより便利なお店づくりをサポートするさまざまな提案を行いました。店舗内作業を軽快にサポートする「カートシステム」や、Eコマース、店舗への供給など、モノの流れを効率化する最新の「物流システム」も合わせて展示しました。



TOPICS 2

「建築・建材展2016」出展

2016年3月8日~11日、東京ビッグサイトにて「建築・建材展2016」が開催されました。今回が初出展となるオカムラブースでは、天井高4.5mに対応する高遮音ダブルガラス移動間仕切「Gravis(グラヴィス)」や、ガラス連装のパーティションシステム「PRECEDE(プリシード)」など、ガラスの美しさと機能性を兼ね備えた間仕切・建材製品を展示しました。



TOPICS 3

ロボットストレージシステム「AutoStore(オートストア)」を国内初納入

2016年1月、ノルウェー Jakob Hatteland Computer社と提携し販売しているロボットストレージシステム「AutoStore(オートストア)」を、株式会社ホームロジスティクス様(ニトリグループ様の物流会社)の通販センターに納入し、2月より稼働しました。「AutoStore」は、全世界のさまざまな業種・業態ですでに100以上のシステムが採用されており、今回が日本国内では初めての納入となります。



「AutoStore」の特徴

グリッド上のロボットが高密度に収納されたコンテナの入出庫を行う次世代ロボットストレージシステム。コンテナを隙間なく積み上げて収納できるため、一般的なスタックークレーン式自動倉庫の約2倍、平置き棚の約3倍の収納力があります。出庫は、グリッド上のロボットが縦横無尽に走行し、目的のコンテナを吊り上げ、ポート(ピッキングステーション)へ自動搬送します。ピッキングが定位置で行えるため、作業者の負担が少なく、ミスのない効率的なピッキングを実現します。



NEW PRODUCT 1

立ち姿勢を取り入れた新しいワークスタイルを実現
上下昇降デスク「Swift (スイフト)」追加品揃え

多様化する社会の中でオフィスワーカーがより生き生きと働くために、「健康」「効率」「交流」が重要なキーワードになりつつあります。オカムラが提案する立ち姿勢を積極的に取り入れる「+Standing (プラススタンディング) のはたらき方」をサポートする「Swift」は、2015年1月の発売以来、健康状態や作業の集中力、やる気などにプラスの効果を生み出すと好評をいただいています。同年11月には、従来の製品に追加してワークデスク・ミーティングテーブル・マネージャーデスクの3タイプをラインアップし、オフィスのトータルコーディネートが可能になりました。

国内オフィス家具メーカーでは初となる「Swift」連携スマートフォンアプリ*も発表。リモートコントローラーとしてだけでなく、1日のデスクワークでの立ち座りの回数や時間、消費カロリーなどの表示、各種プリセット設定やアラート設定などの機能も装備しました。「Swift」による「+Standingのはたらき方」の効果を見える化し、習慣づくりをサポートします。

* オフィスのIoT化に向けたオカムラの新たな挑戦として、株式会社TBWA\HAKUHODOで新規事業開発を手掛けるTBWA\HAKUHODO\QUANTUM、株式会社博報堂アイ・スタジオと共同開発しました。



2016年度 ドイツ「レッドドットデザイン賞」を受賞



上下昇降デスク「Swift (スイフト)」とミーティングチェア「pirouetto (ピルエット)」シリーズが、2016年度「レッドドットデザイン賞：プロダクトデザイン部門 (Red Dot Award:Product Design 2016)」を受賞しました。この賞は、ドイツの著名なデザイン機関「ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター」が主催し、1955年より毎年1回開催されている、世界でも最大級かつ最も権威あるデザイン賞のひとつとされています。2016年度は、57ヶ国から史上最多となる5,200点の応募があり、オカムラは2014年度から3年連続での受賞となりました。「Swift」はドイツの「universal design expert favorite 2015」、日本の「IAUDアワード2015 銀賞」と「JIDAデザインミュージアムセレクション vol.17」に続いての受賞となり、国際的に高い評価を獲得しています。

今回「Swift」と「pirouetto」は、革新性、機能性、品質、人間工学など、さまざまな基準から審査され、優れた製品として認められました。

NEW PRODUCT 2

シンプルかつ画期的な機能を搭載した次世代型ツール
ミーティングチェア「pirouetto (ピルエット)」シリーズ

ミーティングチェア「pirouetto」は、使用シーンや用途別に豊富なバリエーションを品揃えした、トータルコーディネートが可能なツールシリーズです。体格や作業姿勢に合わせて適切な角度と高さで座ることができるユニバーサルデザインを採用しています。

スイング脚タイプは、立位と座位の間姿勢である半立位姿勢で座ることができ、座っているときより腰の負担が少なく、立っているときよりも足が疲れにくいいため、短時間のPC作業やミーティングなどに適しています。

シンプルかつ画期的な機能を持つツールで、さまざまな姿勢をサポートし、多彩な働き方に対応します。



オカムラが長年にわたる研究の中で導き出したこと。それは、①姿勢が健康に大きく影響していること、②作業内容の多様化によりはたらく姿勢が変わっていること、③1日の中ではたらく姿勢を変えることの重要性です。身体への負担を減らし快適に過ごすためには、より好ましい姿勢に変えることが大切です。オカムラはここに着目し、5つの姿勢を提案しています。



長時間のリラックスと集中力をキープ

はたらく姿勢の基本形

前のめりを防いで腹部の圧迫感を解放

立つと座るの中間姿勢

気分転換やスピードアップ

足がラク

腰がラク

NEW PRODUCT 3

オリジナリティーを育み、多様化するビジネスシーンに対応

オフィスシステム
「PRECEDE (プリシード)」

オフィス環境が目まぐるしく移り変わる今、「ワーカールの交流」「企業文化や風土」が次代の価値を生み出すため重要視されています。「PRECEDE」は、従来のワークデスク、ミーティングテーブルで構成されるオフィスシステムに、新たにエグゼクティブデスクとパーティションを加えた、本質を体現するこれからのオフィスシステムファニチュアです。色調、素材感、フォルムの調和をデザインし、ワーカー同士の心を通わせる心地いいオフィスを創出します。素材やフォルムが響き合い生まれる新たな空間は、オフィスのオリジナリティーを育み、企業の未来を映し出します。



NEW PRODUCT 4

オフィスの共有スペースをリラックスして働ける場所へ

クリエイティブファニチュア
「Alt Piazza (アルトピアッツァ)」

「Alt Piazza」は、統一されたモチーフのもと豊富なアイテムを品揃えした、共有スペース向けのオフィスファニチュアです。人が自然と集まり安らぎを感じられる空間をつくるために、カウンターやテーブル、チェア、ベンチ、ソファなど、一人から大勢までさまざまな使い方ができるアイテムを揃えました。素材感の強い3種類の木目柄を採用することで雰囲気大きく変え、自席とは違う空間をつくりだします。オフィスの共有スペースをリラックスして働ける場所に変える「Alt Piazza」は、作業や気分に合わせて自由な働き方をサポートします。



NEW PRODUCT 5

心地よさを重視したクリエイティブな空間を演出

スモールオフィス向けファニチュア「SharedSpace (シェアードスペース)」

近年、使われなくなった倉庫や古民家などをリノベーションして、オフィスや店舗として活用するケースが増えつつあります。「SharedSpace」は、そのような雰囲気のある空間を生かして、自由な働き方、自由な空間を自分たちでつくる個性派スモールオフィスワーカーへ向けた、ファニチュアシリーズです。

温かみのある木質材料やレトロ感のある色柄のファブリックを中心としたテーブルとソファのラインアップで、心地よさを重視した空間を演出し、ワーカーが個性やクリエイティビティを発揮しやすい「共有空間」を提案します。



NEW PRODUCT 6

フレキシビリティの高い医療空間を構築

メディカルコンソールパネル
「MULTI WAND Sustia (マルチヴァントサスティア)」

日々進化する医療環境では、用途や目的が多様化し、フレキシビリティの高い建築空間形成が求められています。メディカルコンソールパネル「MULTI WAND Sustia」は、全ての医療施設に求められるサスティナビリティを具現化した建築空間の形成、成長し変化する医療機能の持続性に対応します。医療環境、患者ニーズに対応し、成長し続ける病院に最適なパネルシステムです。



NEW PRODUCT 7

店舗全体の省エネ・省力化を実現

ショーケースナビゲーションシステム「OSCOM Qlus (オスコム クラス)」

「OSCOM Qlus」は、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの冷凍冷蔵ショーケースの効率運用や、空調、照明、冷凍機なども含めた店舗全体の省エネを実現するシステムです。初代「OSCOM(オスコム)」から数えて3世代目の「OSCOM Qlus」は、刷新したわかりやすい画面デザインと簡単なタッチパネル操作をはじめ、さまざまな省エネ機能を盛り込んでいます。インターネット経由での店舗の使用電力状況の確認や各機器の設定変更、デマンド制御機能による電力料金UPの抑制など、時代にマッチした手法で省エネ・省力化のお店づくりを提案します。



事業別セグメントの概況

Performance Results by Segment

オフィス環境事業

Office Furniture



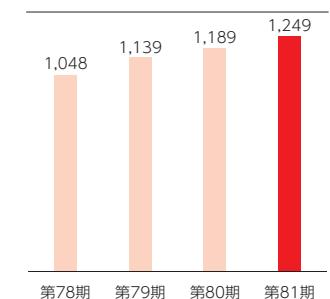
オフィス環境事業につきましては、都心を中心に大規模オフィスビルの供給が増加し、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要が増加いたしました。このような状況のもと、オフィスワーカーの多様な働き方に応えるオフィス環境づくりを積極的に提案するとともに、その提案を実現する新製品投入や医療施設、研究施設、学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動に努めたことにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、124,988百万円(前期比5.1%増)、セグメント利益は、9,182百万円(前期比39.8%増)となりました。



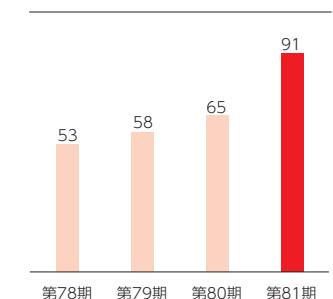
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



商環境事業

Store Displays



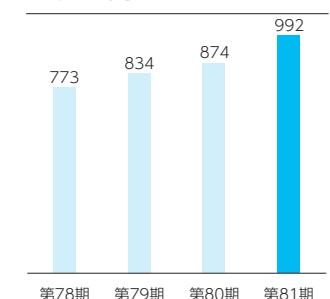
商環境事業につきましては、新規出店、改装を積極的に展開する小売業界に対し、総合力を活かしたトータル提案を強化するとともに、冷凍・冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に注力してまいりました。とくに、顧客の競争力向上に向けた改装需要の高まりに対し、既存店での高シェアと国内生産による短納期対応を活かし、順調に売上を確保したことにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、99,204百万円(前期比13.5%増)、セグメント利益は、3,516百万円(前期比49.6%増)となりました。



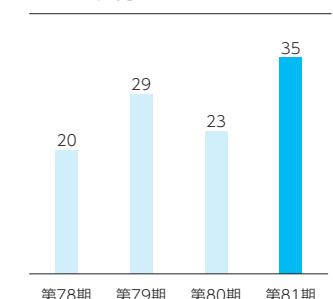
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



その他(物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



物流機器事業につきましては、食品、医療、通販会社の物流センターなどの有力市場に注力してまいりました。また、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした営業活動による大口物件の納入が順調に推移したことなどにより、前連結会計年度に比べ売上高は増加し、セグメント損益は黒字転換いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、16,602百万円(前期比20.7%増)、セグメント利益は、262百万円(前期は155百万円のセグメント損失)となりました。



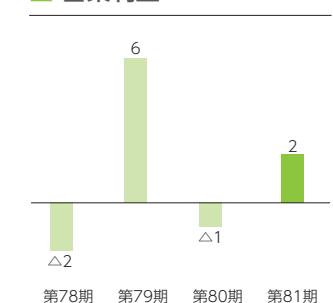
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

科目	当期	
	2016年3月31日現在	前期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	115,032	105,247
現金及び預金	28,933	24,021
受取手形及び売掛金 1	66,318	60,898
商品及び製品	9,191	10,163
仕掛品	1,483	1,625
原材料及び貯蔵品	4,435	3,954
その他	4,668	4,583
固定資産	102,453	102,140
有形固定資産 2	51,350	50,237
建物及び構築物	14,897	15,380
土地	24,151	23,522
その他	12,301	11,333
無形固定資産	5,283	5,046
のれん	176	401
その他	5,107	4,645
投資その他の資産	45,819	46,856
投資有価証券	32,095	32,773
退職給付に係る資産	5,998	6,808
その他	7,724	7,275
資産合計	217,485	207,387

(単位:百万円)

科目	当期	
	2016年3月31日現在	前期 2015年3月31日現在
負債の部		
流動負債	69,425	65,919
支払手形及び買掛金	32,105	34,209
電子記録債務	15,892	11,123
短期借入金	6,066	6,102
1年内返済予定の長期借入金	2,341	3,126
その他	13,019	11,356
固定負債	39,569	37,923
社債	10,000	10,000
長期借入金	6,041	5,059
退職給付に係る負債	15,861	13,701
繰延税金負債	3,344	4,547
その他	4,322	4,615
負債合計	108,994	103,843
純資産の部		
株主資本	98,409	91,382
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,762	16,759
利益剰余金	65,392	58,365
自己株式	△ 2,415	△ 2,413
その他の包括利益累計額	9,587	11,796
非支配株主持分	494	366
純資産合計	108,491	103,544
負債純資産合計	217,485	207,387

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益13,627百万円、減価償却費4,184百万円、仕入債務の増加額2,866百万円等による増加と、売上債権の増加額5,420百万円、法人税等の支払額3,733百万円等による減少の結果、13,870百万円の資金増加となりました。

POINT

1 受取手形及び売掛金

売上高の拡大に伴い前連結会計年度末から5,420百万円増加し、66,318百万円となりました。

2 有形固定資産

前連結会計年度末から1,113百万円増加し、51,350百万円となりました。

連結損益計算書

科目	当期	
	2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
売上高	240,794	220,130
売上原価	167,301	155,089
売上総利益	73,493	65,041
販売費及び一般管理費	60,532	56,274
営業利益	12,960	8,766
営業外収益	1,316	2,175
営業外費用	687	594
経常利益	13,590	10,347
特別利益	211	603
特別損失	173	626
税金等調整前当期純利益	13,627	10,324
法人税、住民税及び事業税	5,009	3,988
法人税等調整額	△ 498	△ 53
当期純利益	9,116	6,390
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	48	△ 32
親会社株主に帰属する当期純利益	9,067	6,422

(単位:百万円)

4 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得4,425百万円、無形固定資産の取得1,397百万円等による減少の結果、6,896百万円の支出となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の増加額205百万円による増加と、親会社による配当金の支払額2,039百万円等による減少の結果、2,114百万円の支出となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	
	2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー 3	13,870	7,463
投資活動による キャッシュ・フロー 4	△ 6,896	△ 6,487
財務活動による キャッシュ・フロー 5	△ 2,114	△ 3,296
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 121	218
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	4,739	△ 2,101
現金及び現金同等物の 期首残高	22,808	24,909
現金及び現金同等物の 期末残高	27,547	22,808

(単位:百万円)

配当金についての基本方針

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

配当金



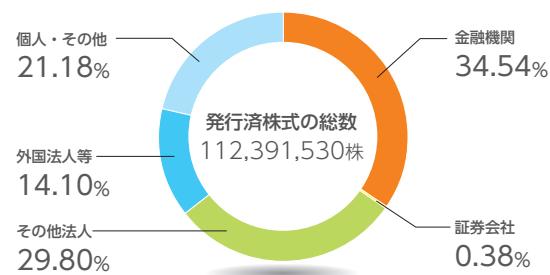
会社情報 (2016年3月31日現在)

Corporate Data

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	5,214名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,311	8.44
オカムラグループ従業員持株会	6,357	5.76
三菱商事株式会社	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,520	5.00
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
三井住友海上火災保険株式会社	5,295	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,119	3.73
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会持株会	3,674	3.33

(注) 持株比率は、自己株式(2,063,674株)を控除して計算しております。

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	2,927名

取締役及び監査役 (2016年6月28日現在)

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	中村 喜久男	
代表取締役社長	中村 雅行	
専務取締役	佐藤 潔	管理本部長
専務取締役	岩下 博樹	マーケティング本部長
専務取締役	菊池 繁治	オフィス営業本部長
常務取締役	岩田 寿一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	土志田 貞一	企画本部長
常務取締役	山本文 雄	商環境事業本部長
取締役(社外)	飯塚 延幸	三菱地所(株)顧問、(株)東京交通会館代表取締役社長
取締役(社外)	西浦 完司	三菱商事(株)常務執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	浅野 広視	トア再保険(株)取締役
取締役	小熊 誠次	デザイン本部長
取締役	中島 章雄	オフィス営業本部関西支社長
取締役	金子 肇	海外営業本部長
取締役	山本 健一	生産本部長
取締役	井上 健	商環境事業本部東日本営業本部長
取締役	田尻 誠	物流システム事業本部長
取締役	牧野 博	テレコム営業本部長
取締役	酒徳 真司	商環境事業本部西日本営業本部長
取締役	河野 直木	オフィス営業本部首都圏営業本部長
監査役	守分 宣	
監査役	荒谷 克典	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岩本 繁	公認会計士

工場施設

追浜事業所
(神奈川県横須賀市)

富士事業所
(静岡県御殿場市)

(株)関西岡村製作所
(大阪府東大阪市)

鶴見事業所/シーダー(株)
(神奈川県横浜市鶴見区)

砂畑産業(株)
(東京都足立区)

つくば事業所
(茨城県つくば市)

御殿場事業所
(静岡県御殿場市)

(株)山陽オカムラ
(岡山県高梁市)

(株)富士精工本社
(石川県能美市)

杭州岡村伝動有限公司
(中国浙江省臨安市)

高島事業所
(山形県東置賜郡高島町)

中井事業所
(神奈川県足柄上郡中井町)

(株)エヌエスオカムラ
(岩手県釜石市)

Siam Okamura Steel Co., Ltd.
(Bangyaparak, Phrapradaeng, Samutprakarn, Thailand)

東莞誠美家具有限公司
(中国広東省東莞市)

関係会社

(株)関西岡村製作所

(株)オカムラ物流

(株)オカムラ サポート アンド サービス

(株)エヌエスオカムラ

(株)山陽オカムラ

(株)エフエム・ソリューション

(株)ヒル・インターナショナル

シーダー(株)

(株)富士精工本社

セック(株)

(株)Td Japan

(株)オカムラ ビジネス サポート

砂畑産業(株)

Okamura International
(Singapore) Pte Ltd

上海岡村家具物流設備有限公司

Salotto (China) Limited

Siam Okamura Steel Co.,Ltd.

Siam Okamura International Co.,Ltd.

杭州岡村伝動有限公司

(他16社 合計35社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム
(東京都千代田区紀尾井町)

オカムラ 仙台ショールーム
(仙台市青葉区花京院)

オカムラ 名古屋ショールーム
(名古屋市中村区名駅)

オカムラ 大阪ショールーム
(大阪市北区大深町)

オカムラ 福岡ショールーム
(福岡市博多区博多駅前)

オカムラVitra店舗用什器ショールーム
(東京都千代田区内神田)

オカムラいすの博物館
(東京都千代田区永田町)

■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	3月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

▶ インターネットでおカムラの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

〒220-0004
横浜市西区北幸二丁目7番18号
TEL : 045-319-3401 (代)

